

### 6月市議会でも本性露呈

# 自民系議員が5請願、1陳情を否決

6月議会主な議案への態度 ○=賛成 ×=反対

各会派	可否	共産党	公明党	新政会	市民クラブ	みらいクラブ	無会派
構成人数		3人	2人	自民系	民新系3人	2人	1人
議案第27号 碧南市公共駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	×	○	○	○	○	×
請願第1号 市附属機関の委員の公募推進を求める請願	否	○	1人賛成	×	×	×	○
請願第2号 日本国憲法を改定しないよう求める請願	否	○	×	×	×	×	○
請願第3号 国民健康保険都道府県単位化に係る意見書採択についての請願	否	○	×	×	×	×	×
請願第4号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	否	○	×	×	×	×	×
請願第5号 後期高齢者の保険料軽減特例継続を求める意見書の提出を国に求める請願	否	○	×	×	×	×	×
陳情第1号 憲法をいかして働く者の権利を守り、市民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情	否	○	×	×	×	×	×

## 新川市営駐車場の指定管理化も賛成

6月議会が30日に閉会しました。新川市営駐車場は、前永島市長が平成17年に1億6900万円で購入。約3500万円を整備。68台のうち34台は月5千円で年間204万円。1時間無料を超えた料金約40万円を足して年間243万円稼いでいます。地元商店街に約30万円の委託料、ゲートの維持管理に100万円が支払われています。年間150万円

## 憲法、国保、年金 市民の不安に反対

安倍内閣の憲法改悪や、来年からの国保県単位化、年金、後期高齢者の医療の減免存続など、切実な市民の暮らしと平和を守ってほしいという

5請願、1陳情には、3人の意見陳述人の前で、反対したのが、新政会、市民クラブ、みらいクラブなどの新人議員も含めた皆さんでした。市民の声を国に届ける市議会の役目を放棄しては、「議会基本条例」が泣きます。

「市議会議員は憲法を守るべき人たち。再び戦争はこりごりという党派を超えた先輩の努力で誕生した憲法。安倍さんの改憲発言にもっと機敏にノーを発してほしい。請願者の思いが「不採択」の知らせに肩を落としてます。

# 東京都議選で日本共産党19議席の大躍進

### 都議選の党派別当選者数

	計	候補者数	改選時	前回当選
共産党	19	37	17	17
自民党	23	60	57	59
公明党	23	23	22	23
進歩党	5	23	7	15
都民ファースト	49	50	6	—
都民ファースト新党	1	4	3	3
維新の会	1	4	1	2
社民党	0	1	0	0
その他	0	17	0	7
無所属	6	40	13	1
計	127	259	126	127

その他は諸派。改選時欠員1。都民ファには選挙後の追加公認分は含まない

## 都議選の結果について

志位和夫委員長は2日投票の東京都議選の結果について、次のように表明しました。

①日本共産党は現有17議席を確保し、さらに二つの議席を上積みし、19議席を獲得。党として支持した生活者ネットの山内れい子さんも当選しました。

この躍進は、4年前の躍進に続くものですが、都議選で2回連続して議席を躍進させたのは、1985年の選挙以来、32年ぶりのことです。

②今度の選挙で、わが党は、四つの選挙区で新たな議席を獲得しました。2人区では北多摩4区（16年ぶり）、3人区では目黒区（同）、北多摩3区（同）、4人区では町田市で初の議席を得ることができました。

現職区であった文京区と中野区は、惜敗しましたが、それぞれ得票を大きくのばす大健闘・大善戦の結果といえると思います。2人区、3人区では、いまのべた以外に、北区、北多摩1区、豊島区で現職を守り、合計六つの2人区と3人区で議席を得たということは、たいへん重要な結果です。

### 三つの大争点

第一は、国政を私物化し、憲法を壊す安倍自公政権に首都・東京から日本共産党の躍進でレッドカードを突きつける。

第二は、築地市場の豊洲移転を中止し、築地市場を未来に向けてしっかりと継承していく。

第三は、都政のあり方を、巨大開発優先から福祉と暮らし優先に大きく切り替えるということです。都政の舞台で大いに力をつくしたいと決意しております。

# へきなん9条の会 第4回 憲法カフェ 「老朽原発を廃炉に」

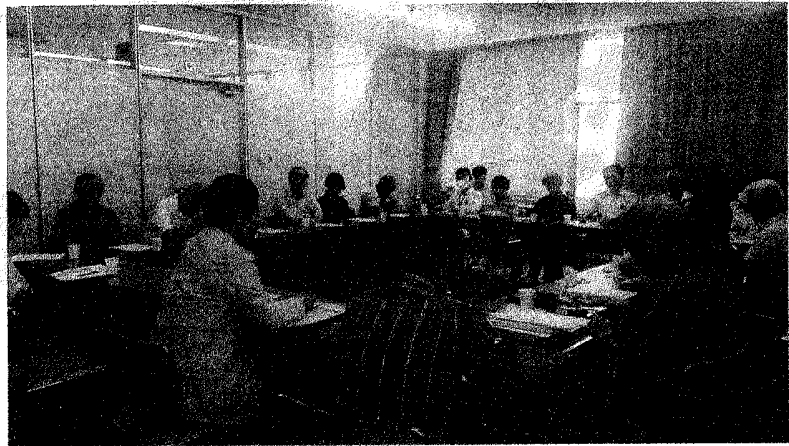
―北村 栄 弁護士―

7月2日(日)、へきなん9条の会が主催する「第4回 憲法カフェ」に参加させていただきました。今回は、名古屋第一法律事務所の北村 栄先生を講師に迎えて「老朽原発を廃炉に」をテーマに「原発訴訟」に関わつての「過去・現在・未来について」お話しをしていただきました。北村先生は碧南出身ということもあって、弟さんも参加していただきました。

会場いっぱい約30名の参加でした。  
現在「高浜原発1・2号機、差止行政訴訟」の弁護団長をしている北川弁護士。

最初に浜岡原発のDVDを15分間視聴しました。浜岡原発の建屋は、活断層を縫うように建てられています。一見、強固な建物で安全かのように見えますが、活断層が動けばもろく崩れる危険な建物です。

北村先生は、日本の原発を再稼働させないためには「裁判で勝つ」と言われました。日本の政府の考え方を動かすのは難しい、裁判で勝つほうがまだ可能性がある。それには、世論が必要。裁判長は世論で影響される。と強調されました。 市会議員 磯貝 明彦 記



## 革新・愛知の会ホームページより

インタビュー「原発は日本の行く末を左右する根本問題」北村栄弁護士【13.03.10】

## 身近なところから行動を

原発問題には、今後の日本の行く先を大きく左右する私たち自身の根底的な問題があると思つています。私も含め、国民、市民に問題はなかったか。国策のため国任せ、人任せの意識がどこかになかったか。

石原都知事、橋下市長、河村市長等々がもてはやされる現象にも共通するのですが、誰かがやってくれそうだから任せておけばよいとして、自分自身の問題として十分自覚してこなかったのではないのでしょうか。

原発問題を真摯に捉え、克服していくことは日本の民主主義の成長に繋がり、まさにピンチがチャンスであると思います。私たち一人ひとりの実践が問われています。家族に原発って危ないよと伝えるなどひとりひとりが身近なところから行動していきましょう。

若い人を育てることが大事。人の三倍も仕事が出来ませんが、同じ志を持った若い人を三人育てていくことはできません。青法協の仕事をしているのは、そのためにそうすれば、引退して好きな趣味を思う存分楽しむこともできると思えますね(笑)。

## 教員の多忙化解消プラン 県がタイムカード導入の方針 どうする碧南市

7月5日中日新聞「県内版」に、愛知県が教員の多忙化解消プランにもとづき2018年度からすべての教育現場にタイムカード導入を目指す報道がされました。

6月議会日本共産党山口はるみ議員の一般質問に、生田教育長はタイムカードの導入を明確に示しませんでした。

小中全校で、37.5%が月80時間超える長時間残業を行っています。実態把握もままならないのでは、H30年度までの「過労死ライン超ゼロ目標」の達成を実現することはできません。

他市に先駆け、H29年2月10日付文科省事務通知「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」に基づきタイムカードの導入を行ってください。

現場では、声なき声が上がっているのではないのでしょうか。少人数学級、部活見直しなど本気の取り組みが、今求められています。



# 戦争する国ノー19行動

次回は7月19日(水)  
昼12時～13時

当日、市葬があるので、時間を変更します。

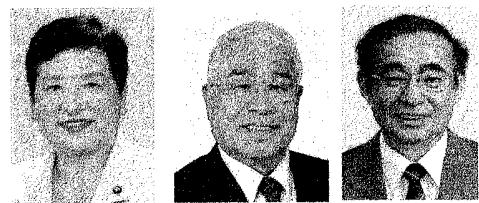
碧南・高浜網の目平和行進

7月9日(日)

午前9時～集会のあと

三河高浜いきいき広場行まで行進

## 日本共産党碧南市会議員団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718  
三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253